

おすすめ本紹介コーナー

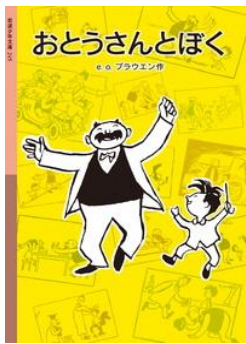
今回も各コーナーの担当から、おすすめの本を紹介してもらいます！

◇レファレンスカウンター◇

35編の短編童話を集めた作品集です。どのお話も短いながらもさまざまな人間関係が交錯し、読み終わった後にはずしりと残るものがあります。別れを描いている作品が多いですが、悲しいだけでなく、どこか優しい気持ちになれる一冊です。



「江戸香織童話集」
江國香織／著 理論社



「おとうさんとほく」
e.o.フラウエン／作 岩波書店(岩波少年文庫)

◇児童室◇

子どもへの愛情あふれるゆかいなお父さんと、やんちゃな幼い息子の日常を描いた、ユーモアいっぱいのコマ漫画の本です。この漫画は1930年代のドイツで描かれ、大人気になりました。作者のフロフィールや、どのような状況下で描かれたのかがわかる巻末の解説もぜひ読んでみてください。この親子の姿が一層いとおしく感じられるのではないのでしょうか。大人にぜひおすすめしたい1冊です。

◇地域資料室◇

子どもたちが「江戸時代から日本の中心地でありつづける中央区の特色を楽しく学び、実感し、現在まで続く歴史とそこに育まれた文化を正しく理解する」ことを目的に作りました。読むだけでなく、図版、写真、イラストなどのビジュアル表現を多く使って、子どもはもちろん、大人が見ても楽しめるものにしました。図書館HP(地域資料室→アーカイブス)からもご覧いただけます。ぜひ一度ご覧ください。



「Jr.中央区文化・歴史ずかん」
野口孝一／監修 中央区立京橋図書館／編

編集後記



いつも京橋図書館をご利用いただきありがとうございます。第1号に続き、第2号を発行しました。今回は、よく見かけるけれど、実際どんな意味があるのか分からない、「ラベルの数字」について特集しました。これからも図書館に足を運んでいただき、本を探したり、読んだりすることがさらに楽しくなるような内容をお伝えしていけたらと思います。京橋図書館を引き続きよろしくお願いたします。

事業・イベント報告

子ども読書手帳の配布 平成30年10月22日～

区内在住・在学の中学生までの方を対象に「子ども読書手帳」の配布を始めました。自分の読んだ本のタイトルや感想を自由に書いていただいて記録するものです。図書館ホームページでダウンロード可能ですので、ぜひご利用ください。



ぬいぐるみおとまり会 平成30年8月19日、20日

8月19日、20日に、ぬいぐるみおとまり会を行いました。子ども達の大切にしているぬいぐるみが、夜の図書



館を探検したり、おはなし会をしたりしました。その様子を、アルバムにして子ども達にお渡ししました。

親と子のふれあいブックスタート 平成30年8月7日～

赤ちゃんから絵本に親しんでいただきたく、絵本をお渡しするブックスタートを始めました。平成30年4月1日以降出生の区内在住である0歳のお子さんを対象としています。(受取りは1歳の誕生日までです。)



まるごとミュージアム 平成30年11月4日



京橋図書館では「平成のわが町中央区を振り返る」と題する図書館資料の蔵出し資料の展示会のほか、児童向けのお話し会や16mmフィルム上映会、ブックコート

体験、閉架書庫のガイドツアーなど沢山のイベントを実施しました。

当日は100名を超える方の参加をいただき、盛りだくさんの内容を楽しんでいただきました。



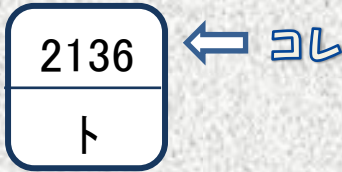
今後のイベント予定

平成31年 1/19、3/16	ミニシアター
2/9	利用者懇談会
4月	子ども読書の日(お話し会など)
7月下旬	子ども図書館員
7月下旬～	
8月下旬	夏季学習室開放

※詳細は「区のおしらせ 中央」または図書館ホームページをご覧ください。

本の分類方法について

みなさんは図書館で本を読む時、本の背表紙に付いているラベルの数字が気になったことはありませんか。



これは日本十進分類法 (Nippon Decimal Classification, 略称 N.D.C) という図書分類する基準に基づいた数字です。この分類法は、アメリカのデューイ氏 (1851年~1931年) が考案したものがもとになっています。戦後、公共図書館の再建、学校図書館の発足、大学の設置を受け、NDCが広く普及しました。第6版からは、日本図書館協会が改訂を行い、現在第10版まで発行されています。

現在では9割を超える公立図書館がこの分類法を採用しています。

今回はこの分類方法を紹介しながら、ラベルの「2136」について説明します。

ポイント① 総記とは...

テーマが複数の分野にまたがったり、またはどの類にも属さないものを指します。具体的には、百科事典、年鑑等が挙げられます。

ポイント② カタカナ「ト」の意味は...

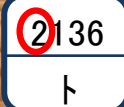
中央区立図書館では、本を配架しやすいように、著者や書名の頭文字をカタカナで表記しています。



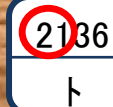
ポイント③ 日本図書館協会とは...

1892(明治25)年3月、前身である日本文庫協会が、25名の図書館人によって結成されました。以来120年以上にわたり、日本の図書館を代表する総合的な全国組織として、図書館の成長・発展に寄与する活動を展開しています。1908年(明治41年)に日本図書館協会に改称されています。(日本図書館協会HPより引用)

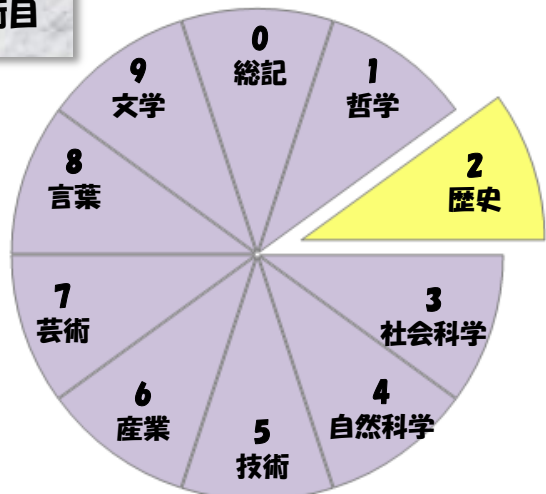
① まず、下の円の図のように本の内容によって、0から9の数字を使って10の大きなテーマにグループ分けしています。これが1番左の数字です。



② 10のテーマに分けただけでは、一つのかたまりが大きすぎるので、その中の一つのかたまりをさらに10に分けます。これが左から2番目の数字です。



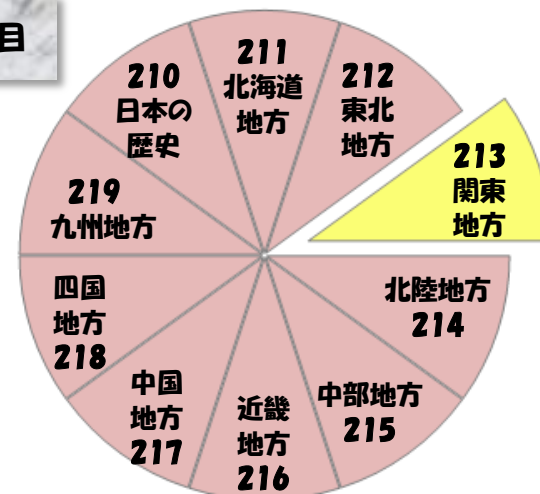
1桁目



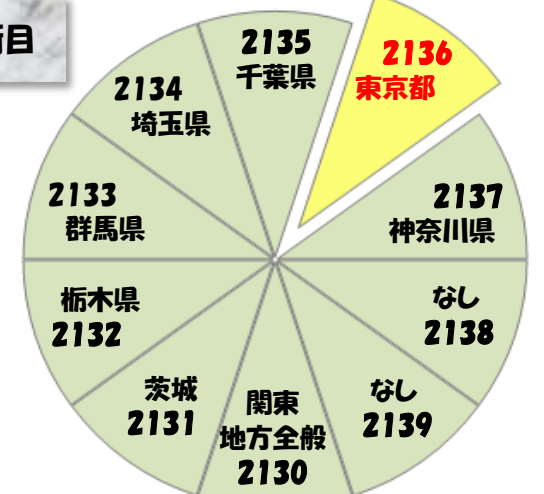
2桁目



3桁目



4桁目

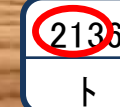


ここで2桁目の数字までの分類をご紹介します。2桁目まででもこんなに細かく分かれているんです。



00 総記	10 哲学	20 歴史	30 社会科学	40 自然科学
01 図書館、図書館学	11 哲学各論	21 日本史	31 政治	41 数学
02 図書、書誌学	12 東洋思想	22 アジア史、東洋史	32 法律	42 物理学
03 百科事典	13 西洋哲学	23 ヨーロッパ史	33 経済	43 化学
04 一般論文集、一般講演集	14 心理学	24 アフリカ史	34 財政	44 天文学、宇宙科学
05 逐次刊行物	15 倫理学・道徳	25 北アメリカ史	35 統計	45 地球科学、地学
06 団体	16 宗教	26 南アメリカ史	36 社会	46 生物科学、一般生物学
07 ジャーナリズム、新聞	17 神道	27 オセアニア史、西極地方史	37 教育	47 植物学
08 叢書、全集、選集	18 仏教	28 伝記	38 風俗慣習、民俗学、民族学	48 動物学
09 貴重書、郷土資料、その他の特別コレクション	19 キリスト教	29 地理、地誌、紀行	39 キリスト教	49 医学、薬学
50 技術	60 産業	70 芸術	80 言語	90 文学
51 建設工学、土木工学	61 農業	71 彫刻	81 日本語	91 日本文学
52 建築学	62 園芸	72 絵画、書道	82 中国語、その他の東洋の諸言語	92 中国文学、その他の東洋文学
53 機械工学、原子力工学	63 蚕糸業	73 版画	83 英語	93 英米文学
54 電気工学、電子工学	64 畜産業、獣医学	74 写真、印刷	84 ドイツ語	94 ドイツ文学
55 海洋工学、船舶工学、兵器	65 林業	75 工芸	85 フランス語	95 フランス文学
56 金属工学、鉱山工学	66 水産業	76 音楽、舞踊	86 スペイン語	96 スペイン文学
57 化学工業	67 商業	77 演劇、映画	87 イタリア語	97 イタリア文学
58 製造工業	68 運輸、交通	78 スポーツ、体育	88 ロシア語	98 ロシア、ソビエト文学
59 家政学、生活科学	69 通信事業	79 諸芸、娯楽	89 その他の諸言語	99 その他の諸文学

③ それを、さらに10、また10、というふうに必要なだけ分けていきます。どこまで細かく分けるか、数字を何桁まで使うかは図書館ごとにちがいます。2桁や4桁のところもあります。これが左から3番目の数字です。ちなみに、中央区立図書館では4桁で運用しています。



このように、2136は「歴史」⇒「日本の歴史」⇒「関東地方」⇒「東京都」の分類であり、つまり「東京都の歴史に関する本」ということになります。

